

## ■ 令和4年度 第1回 大阪府外国人医療対策会議 課題等とりまとめ一覧 (R4.12.15開催)

分類	No.	課題	対応策	対応年度
<b>議題(1) 外国人の新型コロナウイルス感染症患者の受入れ等に関するアンケート結果について</b>				
<b>議題(2) コロナ禍における外国人患者受入れの課題</b>				
1.大阪府遠隔医療通訳サービス	a	電話がかかってから通訳が開始されるまでに待ち時間が生じる場合があるなど、利用しづらい部分があるので改善が必要	委託先事業者と協議して利用しやすいよう改善を図る。なお、受電後、予めオペレーターから通訳者に繋ぐまでに一定の時間を要する場合があることを伝えておくことなどにより、利用者の不満解消を図る。	R 4 : ご利用ガイクの改定(R5.2.13~)
	b	クリニックや薬局では、通訳サービスの認知度が低い	関係団体を通じて改めて事業を周知。	R 5 : 新年度に改めて周知
2.外国語版各種申請書等の作成	a	入院時に必要な同意書等は、多言語版の用意が必要	各種様式の多言語版について、精神科関係は、厚生労働省HPに掲載されているものもあるため、おおさかメディカルネットにリンク掲載予定。その他診療科で利用できる受付説明資料や診療科ごとの問診票については、既に厚生労働省HPに掲載されており、おおさかメディカルネットにリンク掲載も行っているため、精神科の改修後に改めて各医療機関で活用いただくよう周知。	R 4 : おおさかメディカルネット改修 R 5 : 関係機関への周知
	b	公費申請書等は、多言語版で作成するよう国に要望すべき	国へ要望 (大阪府では対応不可)	R 5 : 国へ要望
<b>議題(3) 大阪府における外国人観光客に新型コロナウイルス感染症疑いがある場合の相談窓口等について</b>				
1.外国人コロナ陽性患者の対応スキーム	a	滞在先ホテルが外国人コロナ陽性患者の対応に困らないよう、対応スキーム・役割分担を明確化し、改めて周知すべき	受診相談センターに多言語通訳者を配置するため、これを機にスキームや役割分担を整理し、改めて関係機関に周知。	R 4 : スキーム・役割分担を整理し改めて周知
2.宿泊療養施設での対応	b	多言語での対応が困難であった宿泊療養施設があったため、対応方法等を改めて周知するとともに、入所する外国人に多言語で示せるようなフォーマットを作成すべき	多言語での対応方法等や入所外国人に多言語で示せるようなフォーマットについては、宿泊療養施設スタッフのマニュアル等に掲載済み。改めて宿泊療養施設のスタッフへ周知。	R 4 : 宿泊療養施設スタッフへ改めて周知済み
	c	家族一緒に宿泊療養施設で療養できるよう検討いただきたい	部屋数に限りがあるものの、家族でも入居可能なホテルはあり	-
<b>議題(4) 大阪府外国人患者受入れ拠点医療機関連絡調整会議 議事内容について</b>				
1.未収金対策	a	外国人の医療費の未収金対策は国や自治体でしっかり検討すべき	医療機関に未収金が発生しないよう施策を実施するよう国に要望を継続実施。なお、厚生労働省HPに未収金防止対策等を含む外国人対応マニュアルが掲載されており、おおさかメディカルネットにリンク掲載しているため、各医療機関で活用いただくよう改めて周知。	R 4 : 国に要望済み R 5 : 引き続き国へ要望 各医療機関に再周知
2.外国人が受診する際のオペレーション	b	外国人が医療機関を受診する際のオペレーションの確立がなされていない	おおさかメディカルネットに、医療機関を受診する際には、まず地域の診療所等で受診していただきたいこと、診療所等の紹介なく病院受診した場合には、選定療養費が必要となることを掲載。なお、厚生労働省HPに選定療養費の説明が掲載されているためおおさかメディカルネットにリンク掲載予定。	R 4 : おおさかメディカルネット改修 R 5 : 関係機関への周知
	c	薬局でも利用可能な指差しシート等が必要	府薬務課が作成した「薬局での外国人対応マニュアル」に薬局で利用可能な指差しシート等を掲載している。おおさかメディカルネットに、本マニュアルをリンク掲載しているため、薬局で活用いただくよう改めて周知。	R 4 : 関係機関への周知

※「おおさかメディカルネット」医療機関・薬局向け支援情報サイト及び外国人向け医療情報サイトの総称。

○医療機関・薬局向け支援情報サイト：多言語問診票、外国人患者対応マニュアル等の情報を掲載

○外国人向け医療情報サイト（正式名称：おおさかメディカルネット for Foreigners）：外国語対応可能な医療機関、日本における医療機関受診の手順（掲載予定）等の情報を掲載